

# たるみ歯科通信

2021年2月 第122号

こんにちは、歯科衛生士の瀬川です。

今年に入ってもまだまだコロナが落ち着かず、自粛の日々が続いて大変ですが、近い将来、またみんなで気兼ねなく楽しく過ごせる日々を楽しみに、もうひと踏ん張り頑張りましょう！

さて、今月は前号から引き続き「保険診療と自費診療」の第2弾です。

「より質の良い治療（美しさ・機能性・強度・使用感）は自費診療で受けることができます。」

と先月号でお伝えしました。

今月の通信では「自費診療のかぶせ物の特徴」をご紹介します。

## ゴールド（金合金）

- ・ 歯に近い硬さなので、噛み合う歯への負担が少なく、最も歯に優しい材料である。
- ・ 歯の色ではないので審美性は良くはない。
- ・ 金の価格が高いため、使用する金属量が多いと高額になることもある。



## ジルコニア（セラミック）

- ・ 金属を使わないセラミックの被せなので、最も高価な材料を使えば、自然な色合いで透明感に優れた被せができる。
- ・ 強度が高い。
- ・ 金属アレルギーの心配はない。
- ・ 比較的安価な種類の材料もある。
- ・ 歯根に金属の土台（メタルコア）が入っている場合は、金属色が透けてしまうことがある。



## メタルセラミック（金合金+セラミック）

- ・ 金属の周囲に質の高いセラミックを焼き付けているのでとても美しい。
- ・ 強度が高い。
- ・ 歯根の土台が金属（メタルコア）であっても審美性には問題はない。
- ・ 審美性の面で最も高価なジルコニアにはやや劣る。



これらの材料にはそれぞれメリット・デメリットがあります。ご自身の歯に合う材料について詳しくお聞きになりたい方は担当医・担当歯科衛生士までお気軽にご相談ください♪

2月の予定

★ 院内研修のため **2/19（金）の午前** は **休診** といたします。